

■予防接種を受ける時には事前に医療機関に予約をし、接種日当日は母子健康手帳を必ず持参しましょう。

■予診票にはお子様の整理番号を必ず記入してください。

■接種日当日、保護者が同伴できない場合は必ず、委任状が必要です。委任状は市のホームページからダウンロードできます。必要な方はご利用ください。

	予防接種名	対象年齢	接種回数	接種間隔・接種時期留意点	
定	ロタウイルス (1価)	生後6週～24週まで	2回	接種は同じ種類のワクチンを続けて接種して下さい。 ロタリックス®(1価):1回目接種後27日以上の間隔で2回目	
	(5価)	生後6週～32週まで	3回	ロタテック®(5価):1回目接種後27日以上の間隔で2回目、接種後27日以上の間隔で3回目	
	B型肝炎	1歳に達するまで	3回	27日以上の間隔で2回、更に、初回接種から139日以上を経過した後に1回	
	小児の肺炎球菌感染症	●生後2月～7月未滿に開始	4回	27日以上の間隔で初回接種3回 初回接種は生後24月までです。(生後12月までが望ましい)。追加接種は、初回接種終了後60日以上あけて生後12月以降に1回(生後12月～15月までが望ましい)。ただし、2回目の接種が生後12月を超えた場合、初回接種3回目は行いません。追加接種は実施可能。	
		●生後7月～12月未滿に開始	3回	27日以上の間隔で初回接種2回 初回接種は生後24月までです。(生後12月までが望ましい)。追加接種は、初回接種終了後60日以上あけて生後12月以降に1回。ただし、生後24月を超えた場合、初回接種2回目は行いません。追加接種は実施可能。	
		●生後12月～24月未滿に開始	2回	60日以上の間隔で初回接種 2回	
		●生後24月～60月未滿に開始	1回		
	期	五種混合 百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ、ヒブ	生後2月～90月に達するまで	4回	20日以上の間隔(56日までの間隔が望ましい)で初回接種3回。 初回3回目終了後、6月以上(12月～18月が望ましい)置いて追加接種1回。
		BCG	生後直後～1歳に達するまで	1回	生後5月過ぎてから生後8月に達するまでの接種が望ましい
	接	麻しん風しん混合(MR)	1期	生後12月～24月に達するまで	1回
2期			小学校就学前1年間	1回	令和8年度対象 R2.4.2～R3.4.1生
種	水痘	生後12月～36月に達するまで	2回	1回目接種後、3月以上おく(6～12月が望ましい)	
	日本脳炎	1期	生後6月～90月に達するまで	3回	1期初回は、6日以上の間隔(28日までの間隔が望ましい)で2回。終了後、6月以上おいて(概ね1年が望ましい)追加接種1回。
		2期	9歳以上13歳未滿	1回	
	二種混合(DT) ジフテリア 破傷風	11歳以上13歳未滿	1回	2期の接種期間であれば、三種・四種混合を規定回数受けてなくても二種混合1回分は定期接種となりますが、十分な抗体が得られていないので、不足する分を接種してください。(ただし任意接種となります。)	
	HPV感染症 (子宮頸がん等)	小6生～高1生相当 (※女性のみ)	2～3回	◎2回接種(1回目を15歳未滿で接種した場合) 1回目から5か月以上(標準的には6月～13月)の間隔で2回目を接種する。ただし、5か月後未滿であった場合は3回目の接種を行うこと。この場合2回目から3月以上の間隔をおく ◎3回接種(1回目を15歳以上で接種) 1回目から1か月以上の間隔で2回目、さらに3か月以上の間隔で3回目を接種する。標準的な3回接種は、2月の間隔をおいて2回行った後、1回目の接種から6月おいて3回目。1年以内に3回接種する。	
RSウイルス	妊娠28週～36週6日まで	1回	妊娠毎に1回		
任意接種	こどもインフルエンザ	【接種費用助成】助成対象者:生後6か月～小学6年生まで 助成期間:10月1日～1月31日 助成額:1回につき上限1,000円、子ども一人につき2回まで助成			

●法律の改正などにより、予防接種の受け方が変わる可能性があります。「広報やつしろ」や市のホームページに掲載しますので、接種の前にはご確認下さい。